

- 財政状況が厳しく、不況等により市民の経済状況も厳しい中で、着実な取り組みが行われていることは評価できる。
- 目標値としては、アンケートを取るなどして、入場者の満足度なども含めてよいと思われる。
- 主催事業、市民芸術文化祭、ロビーコンサートなどに関わって、文化会館側として、種々の努力、創意工夫が行われたと思われる。その点を実績として挙げ、その上で課題を整理していただきたい。
- 今後の方向として、ホームページが挙げられている。ホームページの内容の改善や更新の回数等も重要と思われる。財政状況が厳しい中での効率的な広報や企画などについて工夫をお願いしたい。

施策の項目	(5) 図書館サービスの充実												
方針・目標	市民の学習要求に応えるため必要な資料を広く収集・整理し、平等かつ無料で提供するとともに、暮らしに役立つ利用しやすい図書館となるよう努める。												
目標値	より多くの住民に利用されるとともに、満足度の高い図書館を目指す。												
事務事業の実績	<p>○図書館資料の充実</p> <p><蔵書数> H19 144,888冊 H20 148,820冊</p> <p>・特色ある蔵書づくり「木に関する図書コーナー」</p> <p>○サービス活動の充実と利用の拡大</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><貸出冊数></th> <th>個人貸出</th> <th>団体貸出</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>138,139冊</td> <td>9,706冊</td> <td>147,845冊</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>137,683冊</td> <td>9,653冊</td> <td>147,336冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>・レファレンス・サービス（参考調査）、読書案内 3,308件</p> <p>・リクエスト（予約）サービス 3,418冊</p> <p>・障害者サービス（家庭配本） 58冊</p> <p>・県立図書館等公共図書館との相互協力</p> <p>・市や社会教育施設等との連携</p> <p>・ホームページの整備と管理</p> <p>○子どもの読書活動の振興</p> <p>・児童サービスの充実</p> <p>図書館講座・図書館劇場 おはなし会 26回</p> <p>・学校との連携・支援</p> <p>学校図書館担当者研修会 出前おはなし会 12回</p> <p>○ボランティアとの連携</p> <p>・図書館劇場・おはなし会（出前おはなし会）</p> <p>・書架整理</p>	<貸出冊数>	個人貸出	団体貸出	合計	H19	138,139冊	9,706冊	147,845冊	H20	137,683冊	9,653冊	147,336冊
<貸出冊数>	個人貸出	団体貸出	合計										
H19	138,139冊	9,706冊	147,845冊										
H20	137,683冊	9,653冊	147,336冊										

点 検 評 価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] 新着図書は、県内他市よりも着実に増加している。 貸出冊数も順調に推移しており、総体的に市民によく利用されている。 学校及びボランティアの協力を受けながら子どもの読書振興に努めている。 H19実施の図書館満足度調査では、5点満点中「3.98」のやや満足となっており、今後も一層のサービスに努めたい。
課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） [具体的な課題及び取組] 利用の拡大を図るため、貸出冊数、休館日の在り方について、見直しを行った。また、書庫の収容スペースが少なくなってきたため、積極的に除籍を進めるとともに、収容方法の検討を行う。
学識経験者等 の 意 見	○ 「知は力なり」と申します。今、求められる生涯教育の時代において、図書館は学習社会を構築していく上で、ロバート・ハッチンスのいう「かしこく・楽しく・善く生きる」ための糧を提供する重要な役割を担っています。 子ども達の豊かな人間性を育み、学力向上のために読書の担う役割はすこぶる大きく、学校と連携を図りながら事業が積極的に展開されていることは、将来を担う子どもの成長にとっても貴重な機会を与える学習支援機関となっています。 また、四季折々の移ろいにあわせて、行事や事業に応じたコーナーも随時設けられ、市民の学習意欲を刺激する取り組みもなされています。 設置母体の異なる図書館との「図書館間相互貸借」やレファレンス・サービスも的確に行われ、「貸し出しサービス」から資料提供まで迅速になされています。 ○ 的確になされているとは思いますが、各種の資料は、後世の利用者のためにも組織化し、保存を確実にしていかなければならないと考えます。特に知的財産である郷土資料の保存には特段の配慮をお願いします。 ○ 図書館に来れば、誰でもが欲しい情報を入手できる「情報アクセス基地」として機能するためにも、図書館員の専門的資質の向上は欠かせないものと思われまます。 力量のある卓越した力を有する図書館員を育成し、継続的に配置することはこれからの図書館の決定的な要件です。そのためにも、研修

の時間と機会を保障することが必要となってまいります。

- 少子化や高齢化、人口減少の中で、ほぼ貸出冊数等も現状を維持し、サービス活動の充実、子ども読書活動の振興、ボランティアとの連携が進められており、評価できる。
- 貸出冊数については、平成 19 年度から 20 年度にかけて若干の低下が見られる。少子化や高齢化、人口減少の中ではやむを得ない面もあると思われる。
- レファレンスサービス等についても、昨年度との変化、増減を示していただきたい。
- 公共図書館との相互協力や社会教育施設等との連携、ボランティアとの連携などについては、どのような連携がどの程度行われたのかを示していただきたい。
- 子どもの読書活動の振興については、対象学校・学級数や参加者数などを示していただきたい。
- 満足度については、尺度の基準を示していただきたい。3が「普通」、4が「大体よい」、5が「大変よい」ということであれば、3.98はとても高い数字であり、もっと評価してもいいのではないか。
- 平成 19 年度に満足度調査が行われているが、毎年度、何らかの形で定期的に調査が行うようにしていただきたい。利用者へのアンケート調査等により経年変化を明らかにするとともに、利用者の要望の組み上げ、さらには新規利用者の開拓に努めていただきたい。

施策の項目	(6) 気軽に交流できる環境づくり		
方針・目標	子どもだけでなく、大人も参加できるイベントを企画し、幅広い市民が利用し、安心して交流できる環境づくりに努める。		
目標値	より多くの市民に利用され、安心して気軽集える子ども館を目指す。		
事務事業の実績	<p>○新規イベントの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リトミック講座 ・リサイクル工作教室 ・児童絵画展 ・ろうそくづくり ・水ロケットづくり ・東北電力放課後ひろば ・星と音楽の語らい ・ぼくとわたしの故郷の美術展 <p>○利用状況の推移</p> <p>〈総利用者数〉 H19 36,355人 H20 31,183人</p> <p>〈プラネタリウム観覧者数〉 H19 5,770人 H20 5,248人</p> <p>〈事業活動参加者数〉 件数 人数</p> <p> H19 186件 3,408人 H20 143件 4,991人</p> <p>※利用者数は減少傾向にあり、事業件数も減っているが、新しいイベントを企画したことにより、参加人数は増加した。</p>		